

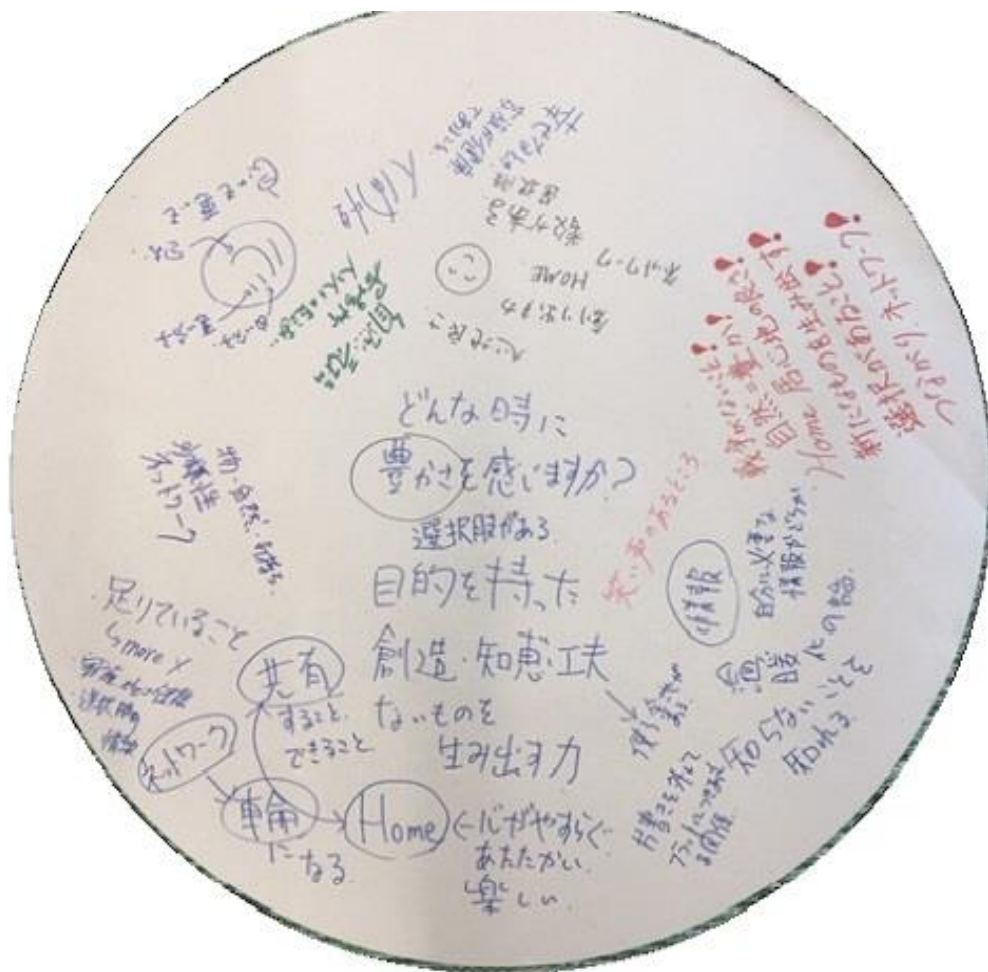
エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第1回

- 開催日 令和元年7月17日（水）19時～21時
- 開催場所 市役所西棟412会議室
- 参加者数 57名
- 実施目的 参加者同士の交流を深め、話し合いをするための下地・土壌づくり
- 実施手法 ワールドカフェ方式のグループワークを行った。
テーマは以下のとおり
 - ・どんなときに豊かさを感じるか
 - ・豊かな自然に触れるとどんなことを感じるか
 - ・子どもたちの未来に残したい環境とは

■ グループワークのまとめからの抜粋

「どんなときに豊かさを感じますか」



- ・戦争がないこと
- ・自然が豊か
- ・家族が健康である
- ・自然 気持ち 居場所 人と人との支え合い
- ・選択肢がある
- ・目的を持った創造、知恵、工夫、ないものを生み出す力
- ・ネットワーク
- ・共有すること

- ・緑や自然にふれているとき
- ・きれいな水をたくさん使える
- ・手作りのおいしい食事
- ・モノづくりを通して新しい発見があったとき
- ・思い思いに取り組んでいて成果が見えてくるとき
- ・夢に追われずうなされず、ゆっくりと気の済むまで寝られたとき
- ・緑に囲まれた武蔵野に越して空気がきれいで健康になった
- ・いろいろな人が笑顔でいる空間にいるとき

■ グループワークのまとめからの抜粋

「豊かな自然にふれてどんなことを感じますか」



- ・豊かさは多様性
- ・自然⇒心が洗われ いい身持ち
リフレッシュ
- ・怖さ⇔開放感
- ・永続を祈る
- ・安心感
- ・ワクワク感
- ・なつかしさ
- ・生きていく力
- ・豊かな自然を皆で大事にするように

- ・ほっとするやすらぎ
- ・自然の一部に同化する
(自分を取り戻す)
- ・自然と心はつながっている 相互に影響
している
- ・生き物はすごい! 人間は小さい!
- ・気持ちが落ち着く
- ・日頃の悩みなどどうでもよくなる。
- ・エネルギーをもらえる
- ・こわい面も・・・危険あり
- ・限界
- ・可能性

■ グループワークのまとめからの抜粋

「豊かな自然にふれてどんなことを感じますか」

- ・街路樹がたくさんある
- ・人と人とのつながり
- ・65年前の自然
- ・土と緑のコミュニティ
- ・野球やサッカーができる広場
- ・ほどよく人口が分散した環境



- ・笑い声が聞こえる広場
- ・挨拶が行きかう町
- ・自然に恵まれ伸び伸びと生活できる環境
- ・きれいな空気
- ・学校の緑
- ・古き良き自然
- ・子どもの遊び場
- ・週末 親子でつどえる場所
- ・外で遊べる気候

- ・全身で遊ぶ時間と空間
- ・身近で虫取りできる場所
- ・働きがいのあるまち
- ・豊かな自然でほっとして安らぎ～
- ・土のある環境・きれいな水
- ・大きな声で話せる
- ・もっとやさしく！余裕やゆとり
- ・空気がきれいな環境

第2回

- 開催日 令和元年7月31日（水）19時～21時
- 開催場所 市役所西棟412会議室
- 参加者数 53名
- 実施目的 エコプラザ（仮称）のコンセプトや概要を知っていただいた上で、連携会議のあり方を考える。
- 実施手法 個人の①連携会議への思いや参加理由、②エコプラザ（仮称）にどう関わりたいかを前提として、グループワークで、③どんな連携会議にしていったら良いかなど、連携会議のあり方について考えた。